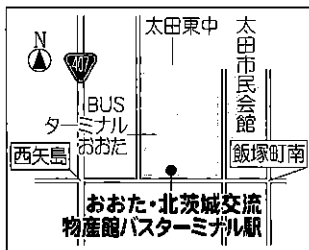


太田・BUSターミナル物販施設

「BUSターミナルおおた」(太田市飯塚町)に9月開業予定の物産販売施設の概要が明らかになった。名称は「おおた・北茨城交流物産館 バスターミナル駅」に決定。北関東道などの物流網を生かし、太平洋で水揚げされた魚介類など県外の特産品も取り扱う交流拠点となる。



物販3店、レストラン1店が出店を予定している。
施設の建設と管理・運営を手掛ける大雄建設(同市飯田町)は、鮮魚店「みなとの魚」を開設する。友好都市である茨城県北茨城市などの漁港で水揚げされた鮮魚介類を販売。当日店舗に並ぶ魚介類の写真を、LINEで

鮮魚や飲食4店

名称は「おおた・北茨城交流物産館」

配信するサービスも始める。
同社は周辺の飲食店などに向け、魚介類の注文配達事業も展開する。各店舗の社員やパート従業員の採用も始めており、計30人程度の雇用を見込む。
ほかに群馬県食肉卸売市場が「肉の駅おおた店」、JA太田市は地場野菜やコメなどを販売する「Fresh!ベジフルおーた」を出店。シーフードレストラン「海鮮加二」(本社・栃木県足利市)がオープンする。
施設入り口には、新

型コロナウイルス感染予防対策として、発熱者を映像で判別できる

サーモグラフィの設置も検討する。
大雄建設の担当者「建設業から生鮮販売業に「異業種参入」という形で挑戦することになる。しっかりと運営していきたい」と話した。